

倫理審査委員会 平成21年3月12日

| | |
|-------|---|
| 申請者 | 循環器科医長 大家 辰彦 |
| 受付番号 | 45 |
| 課題名 | 深部静脈血栓症及び肺塞栓症に対する悉皆登録研究 |
| 研究の概要 | <p>欧米での人工関節全置換術後の肺血栓塞栓症の発症頻度は、抗凝固療法を行っていなかった1970年以前では5～15%、そのうち致命的なものが2～4%と報告されていた。現在、欧米では、何らかの抗凝固療法が行われており、最近の報告では致命的な肺血栓塞栓症の発症頻度は0.1～0.2%である。しかし欧米の様な大規模な調査は行われておらず、正確な発症頻度、予防、治療効果は明らかでない。</p> <p>肺塞栓症、深部静脈血栓症に対する悉皆登録研究を行い、日本の現状を正確に把握し、今後の予防、治療に役立てることである。</p> |
| 判定 | 計画どおり承認 |

| | |
|-------|---|
| 申請者 | 呼吸器外科医師 牛島 千衣 |
| 受付番号 | 46 |
| 課題名 | 病理病期IB(T>5cm)・Ⅱ・ⅣA期非小細胞肺癌完全切除例に対する術後補助化学療法のS-1+CDDP併用療法の無作為化第Ⅱ相臨床試験 |
| 研究の概要 | <p>病理病期IB(T>5cm)、Ⅱ、ⅢA期の非小細胞肺癌完全切除症例を対象とし、S-1単独療法とS-1+CDDP併用療法の無作為化第Ⅱ相臨床試験を実施し、術後補助化学療法における第Ⅲ相試験の候補レジメンを選択することを目的とする。また、術後再発・生存に関する臨床病理学的予後因子を探索する。</p> |
| 判定 | 計画どおり承認 |